駅からめぐる近代化遺産
桐生市まちなか散策案内図

矢野商店銅版面明治22年発行大日本博覧絵より
Yano Warehouses (1889)

1 青蓮寺「銅造阿弥陀如来及両脇侍立像」
国指定
Shorenji Copper Amida Buddha & Standing Attendants

中央に阿弥陀如来、向かって右に観音菩薩、左に勢至菩薩の善光寺式阿弥陀三尊像で、鎌倉時代中期製造と考えられ同時代の仏像造形技術の到達点と言える優れた作品です。

公開は原則として彼岸の中日のみ　TEL0277 22 5268

2 群馬大学工学部同窓記念館「旧桐生高等染織学校本館・講堂」
国登録
Gunma University Faculty of Engineering Memorial Hall

大正5年に桐生高等染織学校として建設され、昭和48年に校舎一部を現在地に移転しました。木造二階建、瓦葺で講堂内部は西欧・中世の教会堂に用いられた様式となっています。

TEL　0277-30-1111

3 天満宮「天満宮社殿」
県指定
Tenmangu (Shrine)

天満宮は桐生新町の宿頭として天正19年(1591)に久方村より現在地へ遷座されたと伝えられています。棟札によれば本殿・弊殿は安永７年(1778)に起工して、寛政元年(1792)に上棟されています。

「天満宮末社春日社」市指定
Kasuga Subordinate Shrine

本殿の後方に南面して建つ一間社流造の小規模な社殿です。建築年代は天正から慶長年間(1573～1614)と推定され、現存する市内の建築物としては最古のものです。

TEL　0277-22-3628

4 ベーカリーカフェ レンガ「旧金谷レース工業株式会社鋸屋根工場」
国登録
Bakery Café Renga (Former Kanaya Lace Mill)

金谷レース工業の前身である旧金芳織物により大正8年に建築された市内に現存する唯一の棟瓦造鋸屋根工場です。現在はベーカリーカフェレンガのパン工房、店舗として活用されています。

5 森合資会社「森合資会社事務所・店蔵」
国登録
Mori Co., Ltd

事務所は大正3年の建築で、外観は白磁タイル張の擬洋風建造物です。大正3年以前に建てられた隣接する店蔵とともに和洋が一体となっており、大正期の創建当初の商店建築として価値が高いものです。

6 「旧早政織物」わがまち風景賞
Former Hayamasa Textile Mill

昭和初期に建築され、洋風のバルコニー及び外観を持つ主屋玄関、市内でも珍しいマンサード屋根の織物工場などが存在します。機屋の構成が桐生新町の地割の中にそのままに残る貴重な事例です。

7 無鄰館「旧北川織物工場」
国登録
Murinkan

大正５年建設の当初工場を囲むように、大正10年に南側の正面、西面、背面の三面に次々と増築が行われました。現在はアーティストのための施設無鄰館として活用されています。

8 「中村弥市商店」
国登録
Nakamura Yaichi Store

中村弥市商店は穀屋、糸商等を経て現在の塗料店へと変遷しました。桐生新町の屋敷割りであり、間口七間、奥行き四十間の敷地の中に本町通りに面する大正時代の店舗を始めとする建物が配置される桐生の商家です。

9 「平田家住宅旧店舗」
国登録
Former Hirata Store

平田家は嘉永４年(1851)より現在地で雑貨商を営みました。旧店舗・店蔵は明治33年、主屋、土蔵は大正２年の建築です。間口７間、奥行き19間の規模に桐生の町屋建築の特徴を備えています。

10 「曽我家住宅」
国登録
Soga Family Residence

明治27年桐生に来住した曽我家初代は現在の土地、建物を醸造業を営んでいた書上家より大正６年に購入しました。幕末から明治、大正時代の建物が同一の敷地内に存在する貴重な例と言えます。

「旧曽我織物工場」
国登録
Former Soga Textile Mill

初代曽我助松により大正６年に建築された木造２連の工場は発電機やボイラーを持つ先進的な織物工場でしたが平成４年に解体されました。現存する５連の石造鋸屋根工場は大正11年に建築され屋根の換気塔と壁面の丸窓がアクセントとなっています。

11 「寺内家住宅旧別荘」
国登録
Terauchi Family Former 2nd Residence

宮本町の松岡商店店主の居宅として昭和12年に建築されました。木造2階建の和風住宅ですが昭和初期に流行した洋風の意匠を取り入れ、バルコニーにはスクラッチタイルが張られています。

12 「旧尾関家住宅」
国登録
Former Ozeki Family Residence

木造平屋建の母屋に切妻屋根の門間が取り付けられた和洋折衷住宅で昭和5年頃に建築されました。昭和初期には宮本町を主としてこの様な文化住宅と呼ばれる建物が多く建てられました。

13 「旧書上商店」わがまち風景賞
Former Kakiage Enterprises

享保年間（1685）創業の桐生最古の買次商であり、江戸期の織物業の発展、後の近代化に貢献した書上商店の建物群です。明治中期以前に建てられた旧店舗は現在「花のにしはら」として活用されています。

14 「玉上薬局」わがまち風景賞
Tamagami Pharmacy

玉上家は桐生新町創建時にこの地に移住したと伝えられる旧家です。文化文政期には織物業を営んでいましたが後に現在の薬種業へと変遷しました。文化3年（1806）建築といわれる店蔵が残されています。

15 「南川潤住宅」わがまち風景賞
Residence of Jun Minamikawa

作家南川潤は戦時期の疎開先として夫人の郷里である桐生市を訪れ、この地が終の棲家となりました。坂口安吾が来桐し書上邸に住まうこととなったのも彼を頼ってのことでした。

16 有鄰館「旧矢野蔵群」市指定
Yurinkan (Former Yano Warehouses)

江戸から大正期に建築され、酒・醤油・味噌などの醸造や商品の保管に使用されていました。現在はまちなみ保存の拠点「有鄰館」として多目的な活用が試されています。

TEL　0277-46-4144

矢野園「矢野本店店舗及び店蔵」市指定
Yanoen

近江（滋賀県）より江戸時代に来桐した矢野氏の２代目久左衛門がこの地に店を構え現在に至っています。店蔵は明治23年以前の建築と考えられ南側に接する店舗は大正５年建築の江戸風商家構えとなっています。

TEL　0277-45-2925

17 「泉新」わがまち風景賞
Izushin (Restaurant)

天保元年（1830）創業と伝えられる泉新は、桐生の買次商9代目佐羽清衛門により桐生に招かれたと伝えられています。現在の建物は道路の拡幅の際に現地に曳屋されたものです。

18 「桐生大学付属幼稚園」わがまち風景賞
Kiryu University Kindergarten

木造下見板張の鋸屋根工場が幼稚園として改築されています。洋風のモダンな桐丘幼稚園として昭和２７年に開園以来、多くの園児を送り出しています。桜の名所としても市民に親しまれています。

19 水道山記念館「旧配水事務所」
国登録
Suidoyama Memorial Building

昭和7年に桐生市上水道の配水事務所として建設され外観はスクラッチタイル、屋根はスペイン瓦を用いて山荘風のデザインになっています。桜の名所として市民の憩いの場となっています。

TEL　0277-44-5257

20 「須藤家住宅」
国登録
Suto Family Residence

明治9年金善織物により建築されました。その後、大正～昭和初期に及ぶ増改築を経て金善織物の居宅、事務所、迎賓館として使用されました。白を基調とした外観は独特の洋風意匠を持ちます。

21 「上毛電気鉄道西桐生駅駅舎」
国登録
Nishi Kiryu Station (Jomo Railways)

マンサード屋根を持つ駅舎は、昭和３年の上毛電気鉄道の開業時に建設されました。昭和初期のモダンな洋風建築で、現在でも創建当時の姿が良好な状態で残っています。

TEL　0277-22-3201

22 桐生市立西公民館「旧水道事務所」
国登録
Kiryu Nishi Community Center

昭和7年に桐生市上水道の水道事務所として建設されました。石張り風の目地があるモルタル壁など昭和初期の流行が取り入れられています。隣接する機械室は蔵の外観を持つ鉄筋コンクリート造りです。

TEL　0277-22-6637

23 桐生織物記念館「桐生織物会館旧館」
国登録
Kiryu Textile Memorial Hall

昭和9年、桐生織物協同組合により建設されたた木造二階建、屋根は青緑色の日本洋瓦葺き、外壁はスクラッチタイル張りの洋風建築です。現在は桐生織物記念館として織物関係の展示、販売を行っています。

TEL　0277-43-7272

24 「旧松岡商店事務所・蔵及び寺内家住宅」
国登録
Former Matsuoka Store

松岡商店は買継商として明治より海外と広く取引を行っていました。洋風の外観を持つ事務所及び和風建築の住宅は昭和10年の建築で昭和初期の桐生市買継商の店舗及び住宅の形態が残されています。

25 「芭蕉」わがまち風景賞
Basho (Restaurant)

昭和12年当初の建物は雪国の夏の作業小屋の材を使用し建てられました。美術、建築に造詣の深い店主により創業から幾多の改装を経て店内は迷路の様です。棟方志功最大の壁画が公開されています。

26 「金善ビル」
国登録
Kanazen Building

明治9年創業の金善織物により大正10年頃に地下1階地上5階建てとして建築されました。初期の鉄筋コンクリート製ビルとして貴重な建物です。現在は一部が飲食店として活用されています。

27 織物参考館“紫”「森秀織物」
国登録
Textile Museum Yukari

大正13年創業の森秀織物の工場施設を博物館として公開しています。実際使われていた織機に触れ織物や染織等の体験も出来ます。敷地内には森島家の主屋や蔵等も含め機屋の構成が整っています。

TEL　0277-45-3111

28 「後藤織物」
国登録
Goto Textile Mill

桐生の織物産業に貢献した後藤定吉により明治3年(1870)創業されました。敷地内には門、塀、主屋、木造の鋸屋根工場、釜場等、明治から昭和にかけての機屋の構成を示す建物群が存在しています。

見学については要予約　TEL　0277-45-2406

29 観音院「観音院 涅槃図」市指定
Kannonin (Temple) Nirvana Painting

作者である岩本一僊は桐生新町出身で、幼時に渡辺崋山から画技を習得しました。両親の追善のため涅槃図を描き、菩提寺である観音院に元治元年(1864)に寄付しました。

公開は2月と9月の2回
TEL　0277-45-0066

30 「林家住宅」わがまち風景賞
Hayashi Family Residence

明治時代に建てられた住宅内部を近代的に改装しています。所有者の建物に対する愛着の伝わる改装の好事例と言えます。敷地内には門、庭園を含め昭和初期建築の住宅も現存し最盛期の機屋の面影を伝えます。

31 「桐生森芳工場」わがまち風景賞
Kiryu Moriyoshi Studio

織物産業の近代化に貢献した森山芳平ゆかりの織物工場で昭和2年2代目芳平により建てられました。平成16年に再生されアーティストによる「桐生再演」の中心となり現在は「桐生森芳工場」として活用されています。

32 「光性寺木彫不動明王像」市指定
Koshoji (Temple) Wooden Standing Myo-o Statue (King of Light)

作成は藤原末期と思われ、平安時代後期の特徴を持っています。寺伝によれば、京で仏道を修めた妙宏師が文化14年(1817)光性寺の住職となるときに京より運んできたと伝えられています。

TEL　0277-44-3798

33 青柳「旧東洋紡織工場」わがまち風景賞
Aoyagi (Confectionary)

戦前に建築された3連の大谷石造の鋸屋根工場の南側に昭和28年3連の木造工場を増築し東洋紡織工場は稼働しました。「桐生再演」会場をへて現在は和菓子工房及び店舗「青柳」として活用されています。

34 桐生倶楽部「桐生倶楽部会館」
国登録
Kiryu Club

大正8年、社団法人桐生倶楽部により会員のための社交場として建築されたモダンな建物です。明治33年に桐生懇話会として結成した桐生倶楽部は桐生の近代化や文化向上に貢献し現在も活動を続けています。

内部見学の際は受付へ　TEL　0277-45-2755

35 「島田商店」
国登録
Shimada Store

店舗や事務所は明治から大正時代、石蔵は島田商店として開業時の昭和12年、母屋と倉庫は昭和28年に建てられました。石蔵は改装工事を経て歯科医院として活用されています。

36 美容室アッシュ「旧堀祐織物工場」
国登録
Hair Salon Ash

桐生市民には堀マラソンで知られる堀祐平により明治38年に創業された堀祐織物の大谷石造りの鋸屋根工場で大正10年頃に建築されました。現在は美容室アッシュとして改装され活用されています。

37 絹撚記念館「旧模範工場桐生撚糸合資会社事務所棟」市指定
Kennen Memorial Building

大正期には国内最大の撚糸会社であった旧日本絹撚株式会社の事務所棟で大正６年に建築されました。
県内最古級の洋風石造建造物
平成25年より展示施設として開館

TEL　0277－44－2399

38 浄運寺「浄運寺本堂」市指定
Jyounji (Temple)

浄運寺は桐生新町の南の要として慶長10年(1605)市内の新宿より移転されました。現在の本堂は宝暦３年(1753)に建てられたものです。県指定文化財の絵画は群馬県立歴史博物館に寄託されています。

TEL　0277-45-2962

39 「樹徳高等学校木造校舎」わがまち風景賞
Jutoku High School Wooden School Building

学校法人明照学園樹徳高等学校は大正3年紡績伝習所として創立されました。昭和7年に建築された木造2階建て校舎は当時第2校舎と呼ばれていました。

40 「日本キリスト教団桐生教会」わがまち風景賞
Kiryu United Church Of Christ in Japan

昭和5年に建てられたこの建物は近世式ゴシック様式、木造モルタル造りで桐生市内の洋風建築を多く手掛けた田小川組の設計施工と伝えられています。同じく昭和５年建築の住宅も存在します。

41 「日本織物株式会社発電所跡及び煉瓦積道構」市史跡
Nippon Orimono Kaisha, Ltd Power Station Remains

桐生で最初の近代的織物工場であった日本織物株式会社の発電所で明治22年に運転を始めました。現存するタービンはドイツ製で大正13年に取替られたものです。隣接する門柱状の煉瓦積道構も当初の発電施設の物です。

42 桐生市水道施設
Kiryu City Wataerworks Bureau Facilities
桐生市の水道施設は昭和7年操業を開始しました。登録有形文化財として12件が登録されています。

「水道資料館　元宿浄水場旧事務所」国登録
Waterworks Exhibition Room　Motojuku Water Purification Plant

水道資料館は元宿浄水場の事務所として建設された鉄筋コンクリート造平屋建、スクラッチタイル張りの壁体を持つ建物です。

「元宿浄水場喞筒室」国登録
Rapid Filtration Plant

水道山に配置された２ヶ所の配水池に送水するためのポンプを備えた施設でスクラッチタイル張りの壁体を持ちます。

TEL　0277-44-3363

43 桐生明治館「旧群馬県衛生所」国指定
Kiryu Meijikan

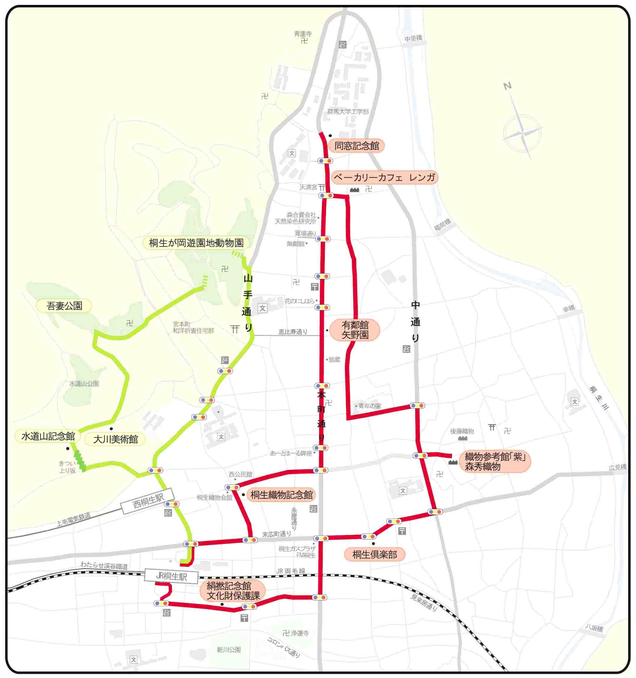
明治11年に前橋に建てられ、昭和3年に現在地に相生村役場として移築されました。昭和61年の保存修理後は桐生明治館の名称で公開され1階には喫茶室も設けられています。

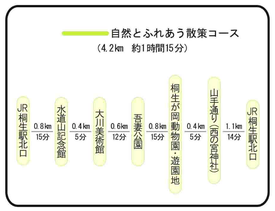
TEL　0277-52-3445

44 「彦部家住宅」国指定
Hikobe Manor

17世紀前半建築の主屋をはじめ江戸時代の長屋門、蔵、冬住など中世豪族の屋敷構えをそのまま残す関東でも屈指の古民家です。又敷地内には染織場ほかの織物産業遺産も現存します。

TEL　0277-52-6596





桐生市へのアクセス

鉄道利用の場合
- ■東武鉄道
  浅草駅から新桐生駅まで
  特急りょうもう号で約1時間40分
- ■ＪＲ両毛線
  高崎駅から桐生駅まで約45分
  小山駅から桐生駅まで約55分

高速道路利用の場合
- ■東北自動車道
  佐野藤岡ICから約1時間
- ■関越・北関東自動車道
  太田桐生ICから約20分
  太田藪塚ICから約20分

桐生市教育委員会　文化財保護課
〒376－0024　群馬県桐生市織姫町1番1号
電話番号　0277－46－1111　（内線622）
E-mail　bunkazai@city.kiryu.lg.jp

協　力
桐生森芳工場
ファッションタウン推進協議会
桐生商工会議所
NPO法人　桐生再生